

子供たちはできていますか。チェック☑してみましよう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて (つなげて)、記述することができる。☐ ⇒C⑨⑩へ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して (まとめて)、記述することができる。☐ ⇒C⑪、D①へ					
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や本時のめあてを解決するために必要な資料を集めることができる。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (2) その資料がどのような資料か分かっている。☐ ⇒C④⑤⑥⑦へ (3) 事実を正確に読み取っている。☐ ⇒C④⑤⑥⑦へ (4) 学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐ ⇒C④⑤⑥⑦へ					
思考力、 判断力、 表現力等	(1) 資料を基に気付きを持つことができる。☐ ⇒A①②へ (2) 資料を基に疑問を持つことができる。☐ ⇒A①②⑥へ (3) 気付きや疑問を調べる観点ごとにグループ分けをすることができる。☐ ⇒A④⑤へ (4) 気付きや疑問から、キーワード (問い) をつくることことができる。☐ ⇒A④⑤⑥へ (5) キーワード (問い) を関連付けて、大きな問いをつくることことができる。☐ ⇒A⑦⑧⑨へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒A⑤⑥へ (2) 疑問に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒A⑤⑥へ (3) 自分が調べたいことを考えることができる。☐ ⇒B①へ (4) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☐ ⇒B②③④へ	(1) 学習問題や本時のめあて (課題) の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。☐ ⇒C①②③D①②③へ (2) 本時で分かったことから、新たに調べたいことを考えることができる。☐ ⇒C①②③④⑤へ (3) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐ ⇒C①②へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☐ ⇒D①②③へ (2) 解決に必要な情報を判断し、それらを基に自分の考えを表現することができる。☐ ⇒C①②、D①②③へ (1) 自分の考えを明確にして、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D①②③④⑤へ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D③⑥へ (1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考慮することができる。☐ ⇒C⑥、D③④⑤⑥へ (2) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐ ⇒C⑥、D④⑤⑥へ (3) 様々な立場ごとのメリット・デメリットを総合的に考えて、社会的事象の意味について考えることができる。☐ ⇒C⑥、D①④⑤⑥へ (4) 実現可能性を踏まえた上で、課題の解決策を考えることができる。☐ ⇒D④⑤⑥へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。☐ ⇒E①②③④へ (2) 友達の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦へ (3) 話合いで出た意見を総合して、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒E④へ (2) 新たな課題を考えることができる。☐ ⇒F①へ (3) 学習した内容を、自分達の生活と関連付けて、考えることができる。☐ ⇒F②③④へ
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しを持っている。☐ ⇒B①②、C①②③へ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているか理解している。☐ ⇒C①②③⑩へ (1) 社会的事象について、実感や切実感を持って調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐ ⇒A①②③⑦⑧⑨、F①②③④へ (2) 社会的事象について自分達の生活と照らし合わせて考えることができる。☐ ⇒A①、F②③④へ (3) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☐ ⇒F②③④へ					

子供たちの様子はどうか。チェック☑してみましょう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましょう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
「主体的・対話的で深い学び」の視点から捉えた児童の姿	○社会的事象に興味や関心を持っている。 <input type="checkbox"/>					
	⇒A①②⑤⑥⑦⑧⑨、F①②③④					
	○目的意識を持って追究活動を行っている。 <input type="checkbox"/>					
	⇒A⑦⑧⑨、B①②③④、C①②③④⑪、D④へ					
○自らの学習を振り返り、次の学習につなげている。 <input type="checkbox"/>						
⇒C①⑪、D⑩、D⑪、E④、F①へ						
○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、新たな考えに気付いている。 <input type="checkbox"/>						
⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ						
○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えを広げている。 <input type="checkbox"/>						
⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ						
○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えをより妥当性のあるものになっている。 <input type="checkbox"/>						
⇒C①、D③、D⑨、F③へ						
○社会的事象についての見方・考え方をを用いて、社会的事象の中から自ら問いを見いだしている。 <input type="checkbox"/>						
⇒A⑤⑥、B①、C①⑪へ						
○社会的事象についての見方・考え方をを用いて、調べたことを関連付け（つなげ）たり、総合し（まとめ）たりして考え、社会的事象に対する理解を深めている。 <input type="checkbox"/>						
⇒C⑩⑪、D①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪、E①②③④へ						
○社会的事象についての見方・考え方をを用いて、様々な社会的事象の意味や特色について考えている。 <input type="checkbox"/>						
⇒D⑤⑥⑦⑧⑨へ						

先生は、手順 1・手順 2 で示した手立てを取り入れたり、意識して行っていますか。チェック☑してみましょう。☑が付かない場合は、授業に取り入れてみましょう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ●学習問題を設定する。 ・社会的事象等を知る。 ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する。 ・学習問題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決の見通しを持つ。 ・予想や仮説を立てる。 ・調査方法、追究方法を吟味する。 ・学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●予想や仮説の検証に向けて調べる。 ・学校外での観察や調査などを通して調べる。 ・様々な種類の資料を活用して調べる。 ・他の児童生徒と情報を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。 ・多面的・多角的に考察する。 ・話し合う(討論等) ●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。 ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●考察したことや構想したことをまとめる。 ・学習課題を振り返って、結論をまとめる。 ・結論について他の児童生徒と話し合う。 ・学習問題についてレポートなどにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習を振り返って考察する。 ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。 ・学習成果を学校外の他者に伝える。 ・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする。
主体的・対話的で深い学びの視点から捉えたポイント	○児童に気付きや疑問を持たせてから、学習問題を設定する。	○設定した学習問題を基に、学習計画を考えさせる。	○追究活動の中で、学習問題と本時のめあて(学習課題)とのつながりを意識させる。	○身に付けた知識の活用を促す学習問題(論題)を設定する。 ○調べさせた後に、調べて分かったことを基に、考えさせる。	○単元全体を振り返り、学習問題について自分の考えを書かせる。	○学習問題について考えさせた後、今後調べるべきことを考えさせる。 ○単元を振り返り、日常生活で生かせることはないか考えさせる。
手立て	<p>A①身近なことを題材に挙げる。<input type="checkbox"/></p> <p>A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。<input type="checkbox"/></p> <p>A③題材に対して気付きや疑問を持たせる。<input type="checkbox"/></p> <p>A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間(キーワード)分けして板書する。<input type="checkbox"/></p> <p>A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。<input type="checkbox"/></p> <p>A⑥自分の考えを持ちやすい場面(予想など)で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。<input type="checkbox"/></p> <p>A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。<input type="checkbox"/></p> <p>A⑨個別に持った学習問題を全体で交流し、学級の学習問題を設定する。<input type="checkbox"/></p>	<p>B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>B②調べるとよいと考えたことをグルーピングし、何から調べたらよいか考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>B③学習問題の解決のために調べる方法を考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>B④調べていくとどのような情報が集められそうか予想をさせる。<input type="checkbox"/></p>	<p>C①学習問題を確認する。<input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。 ・学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。 <p>C②学習問題の解決のために調べる内容を整理する。<input type="checkbox"/></p> <p>C③調べる内容について、予想をさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>C④資料(写真、教科書等の文章等)を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑤限定した資料で調べさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑥立場ごとに関係する資料を分けて提示する。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑦様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑧問題の解決に必要な情報であるのか考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑨調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑩調べた内容について、問い返して、事実相互を関連付けて考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>C⑪学習問題について、学習課題(本時のめあて)とのつながりを意識して記述させる。<input type="checkbox"/></p>	<p>D①事実を調べさせた後に、意味を問う発問を段階的に行う。<input type="checkbox"/></p> <p>D②調べた事実と考えを明確に分けるようにさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>D③根拠となる資料を確認する。<input type="checkbox"/></p> <p>D④話合いの目的・ゴールを示す。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑤話合いの視点を与える。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑥自分の考え(予想など)を持ちやすい場面で、ペアやグループでの話合いの時間を設定する。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑦話し合った内容のまとめ方を例示する。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑧キーワードを挙げる。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑨まとめ方に関する判定基準を示す。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑩掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。<input type="checkbox"/></p> <p>D⑪よく書いている児童の考えを紹介する。<input type="checkbox"/></p>	<p>E①単元全体のまとめ方を例示する。<input type="checkbox"/></p> <p>E②キーワードを挙げる。<input type="checkbox"/></p> <p>E③まとめ方に関する判定基準を示す。<input type="checkbox"/></p> <p>E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。<input type="checkbox"/></p>	<p>F①新たな学習問題を提示する。<input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの考えを紹介する。 ・社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。 ・ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を提供してもらう。 <p>F②これからの自分たちの姿を意識しながら対話させる。<input type="checkbox"/></p> <p>F③自分たちにできるかできないかの判断を全体で行い、考えさせる。<input type="checkbox"/></p> <p>F④学んだことと自分たちの生活(自分にできること)とをつなげて考えさせる。<input type="checkbox"/></p>